



ボッシュのセンサプラットフォームで ロボットにリアルな動きを

新しい高精度センシング規格がシームレスなユーザ体験を実現

2026 年 1 月 5 日
PI12038

- ▶ 3 つの製品群で、ロボット、XR ヘッドセットとメガネ、ウェアラブルデバイスなどに対応
- ▶ ボッシュ、年間成長率 4%、2030 年までに 192 億ドルを超えると予測される MEMS センサー市場におけるリーダーシップを堅持
- ▶ 高機能民生用電子機器メーカー向け測定精度の新たなベンチマークを確立

ネバダ州ラスベガス – ロボット革命と急速に発展する拡張現実 (XR) の中核を担うのは、目立たないながらも不可欠なテクノロジーの MEMS センサーです。この小型で洗練されたデバイスが基盤技術となり、生物を動かす感覚器官と同じように、機械に自身の動きや方向を感じて認識する重要な能力を与えます。この空間認識能力が、複雑なアルゴリズムを滑らかな動きと没入感のあるデジタル体験に変換されます。

成長市場に向けた 3 つの新しいハイエンドセンサー

ボッシュ センサーテックは CES®2026 で、BMI5 プラットフォームを発表します。これは複数のデバイスセグメント向けに、動きのわずかな変化を捉え、超低ノイズの高精度性能を実現するよう設計された、新世代の慣性（加速度およびジャイロスコープ）センサーです。共通のハードウェア上に、インテリジェントなソフトウェアを統合したプラットフォームで、BMI560、BMI563、BMI570 の 3 つの製品群があります。BMI5 シリーズは、民生用電子機器メーカーのプレミアムセグメント向けで、成長を続ける MEMS センサー市場の基盤となります。市場調査と戦略コンサルティングを専門とする Yole Group によると、ボッシュがマーケットリーダーである同市場の規模は、2030 年までに 192 億米ドルを超え、年平均成長率 (CAGR 2024~2030) は 4%になると予想されています*。大量生産の需要に対応するため、ドイツのロイトリンゲンにあるボッシュのウエハ製造工場のクリーンルームは、2025 年末までに約 3 万 5,000 平方メートルから 4 万 4,000 平方メートル以上に拡張されました。

多様なアプリケーションに対応するソリューション

BMI560 センサーは、VR（仮想現実）と AR（拡張現実）体験が驚くほどリアルなものになります。頭の動きをほぼ遅延なく正確に追跡することで、3D 環境で自然な動作を再現することができます。また、高度な手振れ補正機能により、外出先でもスマートフォンやアクションカメラで、鮮明でブレのない写真や動画を撮影できます。

BMI563 は、振動やダイナミックな動きにも対応できるため、正確な移動が必要なロボットや、細かい手振りを追跡する VR のコントローラーに最適です。デバイスが、周囲の環境や動きを極めて正確に認識することを可能とします。ボッシュの新しい MEMS センサーは、たとえカメラレンズが何かで覆われている状態でも、ヒューマノイドロボットが正しい経路を見つけ出すことを支援します。

BMI570 は、スマートウォッチやワイヤレスイヤホンの機能を強化します。新しいプラットフォームでは、測定距離が旧バージョンの 2 倍となり、特に動的な幅広い動きやジェスチャーを検出することが可能になりました。ヒアラブルデバイスでは、頭部の正確な向きのデータを提供することで臨場感あふれる 3D オーディオ体験を実現します。つまり、ユーザの動きに合わせて特定の方向から音楽や通話が聞こえるようになります。

責任ある技術革新と組み合わせた優れた AI 技術

エッジ AI による分類エンジンは、センサー内で直接動作パターンを認識することでデバイスを「常時オン」の状態に保つことができます。これにより、消費電力の削減、反応速度の向上、さらにユーザ操作なしにスマートウォッチで自動的にアクティビティが検出されるなど、スマートな利点が生まれます。BMI5 プラットフォームは、ボッシュ・センサーテックの中で最高の環境基準を満たしており、すべての製品群において優れた性能と責任あるイノベーションを兼ね備えています。この統合アーキテクチャにより、デバイスマーカーは、製品群全体で最先端かつ持続可能な開発を同時に実現できます。ボッシュ・センサーテックの CEO であるシュテファン・フィンクバイナーは、次のように述べています。「私たちは BMI5 プラットフォームで次世代のモーション認識デバイスの基盤を強化します。お客様は、すべての製品群において一貫した精度、堅牢性、卓越した性能というメリットを享受できます。これにより、応答性に優れた XR システム、信頼性の高いロボット、直感的なウェアラブルを実現することができます。このプラットフォームは、ボッシュのコアバリューである品質と持続可能性を反映し、卓越した技術と責任あるイノベーションを備えたもので、単一の拡張性の高いアーキテクチャで、幅広いアプリケーションに対応できます。これはほんの始まりに過ぎず、BMI5 ファミリーは今後も成長を続け、さらに多くの製品群がすでに開発中です」

提供予定 :

直接お取引のあるお客様にはすでに試作品を提供しており、製品群全体の量産は 2026 年第 3 四半期以降に開始される予定です。

*出典 : Status of the MEMS Industry 2025 report (英語) 、Yole Group

**報道用画像およびインフォチャートは、ボッシュ・メディア・サービス
(www.bosch-press.com) でご覧いただけます。**

報道関係対応窓口 :

Constantin Schmauder

電話: +49 172 7257198

E-mail: constantin.schmauder@bosch-sensor tec.com

ウェブサイト :

<https://www.bosch-sensor tec.com/>

CES 2026 : ボッシュの出展概要

CES 2026 プレスカンファレンスについて

【日時】 2026 年 1 月 5 日 (月) 9:00~9:45 a.m. (太平洋標準時)

【登壇者】 タニア・リュッカート

(ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー)

ポール・トーマス (ボッシュ北米法人社長)

【場所】 Ballroom Banyan ABCD、Mandalay Bay Hotel,

Las Vegas South Convention Center、Level 3

【配信】 [ボッシュ・メディア・サービス](#) でライブ配信

ボッシュブースのご案内

【出展期間】 2026 年 1 月 6 日 (火) ~9 日 (金)

【出展場所】 Central Hall、ブース #16203

ボッシュのエキスピートによる講演会 :

【テーマ】 ソフトウェアと AI によるパーソナライズ :

車内エクスペリエンスの再構築

【日時】 1 月 6 日 (火) 11:20 (太平洋標準時)

【場所】 West Hall Mobility Stage

【登壇者】 Christopher Prediger

(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部、
コンピューティング パフォーマンス担当バイスプレジデント)

【テーマ】 ネットワーク化されたコミュニティにおける
人間の安全保障およびスマートモビリティの推進

【日時】 1月 6 日 (火) 16:00 (太平洋標準時)

【場所】 Las Vegas Convention Center North / N261

【登壇者】 Oliver Steinbis (Bosch Secure Authentication GmbH 社長)

【テーマ】 パーソナライズされたパフォーマンス：
ソフトウェア ディファインド パワー、ステアリング、ブレーキ

【日時】 1月 7 日 (水) 9:40 (太平洋標準時)

【場所】 West Hall Mobility Stage

【登壇者】 Philipp Ibele
(エレクトリファイド モーション事業部
エンジニアリング担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)
Rich Nesbitt
(ピークルモーション事業部 製品管理担当バイスプレジデント)

【テーマ】 スマートデバイスとスマートホーム統合の最新情報

【日時】 1月 7 日 (水) 11:00 (太平洋標準時)

【場所】 Las Vegas Convention Center West / N218

【登壇者】 Darcy Clarkson (北米 BSH の CEO)

【テーマ】 データからエクスペリエンスへ：
次世代モビリティの中核を担う AI

【日時】 1月 7 日 (水) 16:30 (太平洋標準時)

【場所】 Fontainebleau Las Vegas の AI Foundry Stage

【登壇者】 Mariela Minutolo
(ETAS GmbH セールス & マーケティング担当
エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)
Christian Koepp
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部
コンピューティングパフォーマンス担当シニアバイスプレジデント)

【テーマ】 手を離すから目を離すへ：自動運転レベル 4 への競争

【日時】 1月 8 日 (水) 9:00 (太平洋標準時)

【場所】 Las Vegas Convention Center West / W219

【登壇者】 Fedra Ribeiro
(クロスドメイン コンピューティング ソリューション事業部
セールス担当エグゼクティブバイスプレジデント兼取締役)

【テーマ】 ソフトウェア ドリブン モビリティにむけた協働

【日時】 1月 8 日 (水) 9:40 (太平洋標準時)

【場所】 West Hall Mobility Stage

【登壇者】 Eric Cesa (ETAS Americas バイスプレジデント)

CES におけるボッシュ：Irina Ananyeva, +49 152 597-53284, Megan Bonelli, +1 947 281-7062, Tim Wieland, +1 248 410-0288

モビリティ、ソフトウェア：Athanassios Kaliudis, +49 152 086-51292

AI（人工知能）：Matthias Jekosch, +49 711 811-17645

コネクテッド・マニュファクチャリング（ネットワーク化された製造）：

Manuela Kaiser, +49 711 811-44203

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2024年の従業員数は約41万8,000人（2024年12月31日現在）、売上高は903億ユーロ（約14.8兆円*）を計上しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、電動化、デジタル化、ネットワーク化、持続可能性の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュGmbHとその子会社490社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点で約8万7,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ（1861～1942年）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュGmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュGmbHの株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュGmbHおよび創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

*2024年の為替平均レート、1ユーロ = 163.8354円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

@BoschPress ボッシュ・メディア 公式X (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

@BoschJapan ボッシュ・ジャパン 公式X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン 公式LinkedIn (日本語)